

全中社研「千葉大会」を終えて

大会実行委員長 三浦幸治

全国中学校社会科教育研究会の第40回研究大会「千葉大会」を無事に終えることができました。

大会初日は、開会行事の後、基調提案がなされ、続いて、文部科学省の大倉泰裕先生の「今後の中学校社会科教育の方向性」と題した記念講演が行われました。教育課程改訂の動きと併せ、今後の社会科教育の目指す方向性についての示唆に富むご講演をいただき、参会者の皆様への大きなお土産となったことと思います。そして、翌日の分科会は、「知の構造化」「価値の模索」「社会への関わり」の三部会に分かれ、それぞれ授業展開二本の後、研究発表・研究協議を行いました。

今回の全国大会は、千葉県のこれまでの取り組みをまとめ、発表させていただく、またとない機会でありましたが、同時に、現在の社会科教育のあり方や今後の方向性について共通理解を図るための、貴重な場としていただけたのではないかと思います。

本大会の開催にあたり、ご支援、ご指導をいただきました関係各位に、また、全国よりご参会いただきました会員の皆様に心よりお礼を申し上げます。